東京慈恵会医科大学大学院

医学研究科看護学専攻（博士後期課程）

2027 年度
募集要項
(二次募集)

CONTENTS

1．アドミッション・ポリシー ……1
2．カリキュラム・ポリシー ……1
3．ディプロマ・ポリシー ……2
4．修業年限 ……2
5．募集する専門領域と入学定員 ……2
6．出願資格 ……3
7．出願方法 ……4
8．受 験 料 ……5
9．出願期間・入学試験日程 ……5
10．試験科目・試験時間 ……5
11．選考方法 ……5
12．プレゼンテーション資料について …5
13．事前相談 ……6
14．合格発表 ……7
15．入学手続 ……7
16．奨学金制度 ……7
17．試験場・地図 ……8

個人情報の取り扱いについて

出願および入学にあたって提出された氏名、住所、書類などの個人情報は学校法人慈恵大学個人情報保護に関する規程に従って管理され、入学試験および入学後の教育のために利用されます。

1．アドミッション・ポリシー（入学者に関する受け入れ方針）

本博士後期課程のカリキュラムを修得し、修了時に求められる能力を達成できる学生として、入学時に以下の人を求めています。

1．専攻する看護学分野における専門知識を有している者
2．看護における課題解決のための研究に取り組む能力がある者
3．将来、看護学教育者、看護学研究者、看護管理者として社会に貢献する意志がある者

入学者選抜試験では、看護学専攻分野における専門知識を看護専門科目の筆記試験と書類審査および面接試験で評価します。また、看護における課題解決のための研究に取り組む能力は、これまでの学会発表や論文を含む書類審査、看護専門科目と英語の筆記試験および面接試験で評価します。さらに、将来、社会に貢献する意志は面接試験で評価します。

2．カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

看護学専攻博士後期課程のカリキュラムは、教育理念、教育目標、ディプロマポリシーに基づいて「共通科目（必修）」「共通科目（選択）」「専門科目（演習含む）」「特別研究（必修）」で編成する。

1．知識や技術を創造する研究能力を育成するために、共通必修科目として「看護哲学概論」、共通選択科目として「看護学研究論」「応用統計学」を配置する。また、専門選択科目として「基盤創出看護学特講」「基盤創出看護学演習」、「先進治療看護学特講」「先進治療看護学演習」、「予防推進看護学特講」「予防推進看護学演習」、「地域包括看護学特講」「地域包括看護学演習」を置く。さらに、特別研究必修科目として「看護学特別研究Ⅰ」「看護学特別研究Ⅱ」を配置する。

2．看護哲学を追求する姿勢を育成するために、共通必修科目として「看護職生涯発達論」「看護哲学概論」を、共通選択科目として「看護学研究論」を配置する。また、専門選択科目として「基盤創出看護学特講」を置き、さらに特別研究必修科目として「看護学特別研究Ⅰ」を配置する。

3．国際的・学際的に協働し活躍する能力を育成するために、共通必修科目として「国際学術コミュニケーション論」と、特別研究必修科目として「看護学特別研究Ⅰ」「看護学特別研究Ⅱ」を配置する。

4．組織を変革する能力を育成するために、共通必修科目として「看護職生涯発達論」を、専門選択科目として「基盤創出看護学演習」「先進治療看護学演習」「予防推進看護学演習」「地域包括看護学演習」と、特別研究必修科目として「看護学特別研究Ⅱ」を配置する。

5．人材を教育する能力を育成するために、共通必修科目として「看護職生涯発達論」、専門選択科目「基盤創出看護学特講」と、特別研究「看護学特別研究Ⅱ」を配置する。

※　2026年度現在。今後改定を予定しています。

３．ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針＝育成する人材）

本博士後期課程では、所定の修業年限を在籍し、修了要件となる単位を取得するとともに、博士論文の審査及び最終試験に合格し、下記の能力と姿勢を有するものに学位を授与します。

1．国民の健康上の課題を解決するために新たな知識や技術を創造する研究能力
2．看護学の学識者として看護哲学を追究する姿勢
3．多様な学問分野の研究者や実践者と国際的・学際的に協働し活躍する能力
4．看護の責任と役割を果たすために組織を変革する能力
5．新たな知見を次世代に伝え人材を教育する能力

４．修業年限

看護職者の資質向上に貢献する目的で「大学院設置基準」第14条に定める「教育方法の特例」を用いて、昼夜開講、土日開講、集中講義を導入するとともに「大学院設置基準」第15条（大学設置基準第30条の 2 を準用）を用い、**修業年限を 3 年**とします。なお、長期履修制度の利用も可能です。

５．募集する専門領域と入学定員

専　攻　名	分　野	専　門　領　域	研究指導教員	入学定員
看護学専攻 博士後期課程	実践開発 看護学分野	看護哲学	濱田　真由美准教授	3 名
		母性看護学	松永　佳子教授 濱田　真由美准教授	
		小児看護学	永吉　美智枝教授	
		老年看護学	梶井　文子教授	

6．出願資格

入学志願資格者は、下記のいずれかに該当した上で、看護師の免許を有し、看護学および看護実践の場における課題を解決するための、より高度な研究力および教育力、さらに管理力の修得を目指す者とします。

1）修士の学位や専門職学位を有する者、および入学年3月までに学位取得見込みの者（学校教育法第102条第1項）

2）外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学年の3月までに学位取得見込みの者（学校教育法施行規則第156条第1号）

3）外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および入学年3月までに学位取得見込みの者（学校教育法施行規則第156条第2号）

4）日本において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および入学年3月までに学位取得見込みの者（学校教育法施行規則第156条第3号）

5）国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、および入学年3月までに学位取得見込みの者（学校教育法施行規則第156条第4号）

6）大学などを卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において修士の学位を有する者と同等の学力があると認め、本学大学院における教育を受けるにふさわしいと大学院委員会（博士後期課程）で認めた者（平成元年文部省告示第118号）

7）本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を取得した者と同等以上の学力があると大学院委員会（博士後期課程）で認めた24歳以上の者（学校教育法施行規則第156条第7号）

7．出願方法

大学のホームページから出願書類をダウンロードし、手書きまたはパソコン入力のいずれかで作成し、本学学事課に速達書留にて郵送してください。（締切日必着）なお、パソコンで入力する場合でも、自筆の指定がある箇所については、印刷した後に必ず黒のボールペンを使って手書きで記入してください。出願に使用する所定用紙は必ずＡ４サイズ（片面）で印刷してください。

■大学ホームページ
https://www.jikei.ac.jp/graduate-school/nursing-doctoral-second/
東京慈恵会医科大学＞大学院＞医学研究科看護学専攻博士後期課程＞入試情報で検索

■郵送先
〒105-8461　東京都港区西新橋3-25-8
東京慈恵会医科大学 大学院医学研究科 看護学専攻事務室

※速達書留で送付してください。締切日必着とします。
※封筒の表面に「出願書類在中」と記載してください。
※角型2号の封筒を使用してください。
※出願者の氏名・住所・郵便番号・電話番号を明記してください。

出願書類

出願書類	提出上の注意事項	様式
入学願書	様式１－①②、様式２－①②③の全てを記入してください。	様式 1 様式 2
推薦状（任意）	本大学院所定用紙あるいはそれに準じる書式で提出してください。 （提出は任意です。提出しないことで試験が不利益になることはありません。提出された場合、面接の参考にします。）	様式 3 またはそれに準じる書式
在職証明書（任意）	本大学院所定用紙を使用してください。	様式 4
受験票	受験票返送用に、長形３号の封筒をご用意ください。 封筒の表面には、ご自身の郵便番号、住所、氏名を明記し、**410円分の切手を貼付してください。**	
修了（見込可）証明書	大学院修士課程または博士前期課程の学長または学校長等が証明し、厳封したもの。	
成績証明書	最終学歴出身学長等が証明し、厳封したもの。	
看護師等免許証の写し	Ａ４サイズに縮小コピーしてください。 外国の看護師養成機関の場合は、当該国の国家資格である旨の証明を添付してください。	
主要筆頭論文　等	１編以上、別刷りまたはコピーしたもの。 修士論文の場合はＡ４サイズ４枚程度に要約してください。	
研究計画書	Ａ４（1200字／枚）５枚以内にまとめてください。	
受験料振込明細 （コピー可）	指定する銀行口座に振込み、納入証明として「振込明細（コピー可）」を提出してください。	

１．入学試験日の３日前までに受験票が届かない場合は、看護学専攻事務室までご連絡ください。
２．提出された出願書類は、いかなる理由があっても返却いたしません。

8．受　験　料

1．受験料は30,000円です。
2．指定する以下の銀行口座に振り込んでください。
　■銀行振込
　　三菱 UFJ 銀行　虎ノ門支店
　　普通　2015682
　　受験料口　学校法人　慈恵大学
3．納入証明として「振込明細（コピー可）」を、出願書類と一緒に郵送してください。
4．**既納の受験料は、いかなる理由があっても返却いたしません。**

9．出願期間・入学試験日程

1．出願期間　　**2026年10月14日（水）～12月５日（土）（必着）**
2．入学試験日　　**2027年１月９日（土）**

10．試験科目・試験時間

8 ：50～ 9 ：00	9 ：00～10：30	10：50～12：20	13：30～
受験上の注意	看護専門科目	英語	面接

午前８時50分までに集合してください。

11．選 考 方 法

看護専門科目、英語、面接試験および書類審査により総合判定します。
1．看護専門科目……看護学に関する問題
2．英　　語……英和辞書、和英辞書のみ持ち込み可とします（電子辞書は不可）
3．面接（30分程度）
　①研究計画について PowerPoint を用いて口頭でのプレゼンテーション（10分程度）
　②これまでの経験・研究を踏まえ将来社会に貢献する意志や研究計画について

12．プレゼンテーション資料について

面接試験内で、研究計画に関するプレゼンテーションを10分程度行います。当日は PowerPoint のデータを入れた USB メモリと、配布用のハンドアウト（印刷物）４部を必ず持参してください。会場のパソコンは大学側が Windows を用意します。PowerPoint データは Windows の環境下で正しく動作するよう作成してください。特に、OS の違いによるレイアウト崩れを防ぐため、フォントは Windows の標準フォントを使用し、万が一に備えて PDF 形式のデータも同じ USB メモリに保存してください。また、手元に配るハンドアウトは、A４用紙１枚に対し「スライド２枚」のサイズで、片面印刷してください。なお、印刷は可能な限りカラーで印刷してください。

13. 事 前 相 談

出願にあたり、事前に相談を受けてください。事前相談を希望する指導教員については、同封の研究指導教員一覧を参考に決めてください。

看護哲学	濱田　真由美准教授
母性看護学	松永　佳子教授　　濱田　真由美准教授
小児看護学	永吉　美智枝教授
老年看護学	梶井　文子教授

1．出願者は、事前相談票を本学のホームページからダウンロードし、郵送、メール添付のいずれかにて看護学専攻事務室まで提出してください。相談日、相談方法については、後日連絡します。

2．事前相談票提出先

住　所：〒105-8461　東京都港区西新橋 3 -25- 8
東京慈恵会医科大学大学院医学研究科
看護学専攻博士後期課程　事前相談受付係

電　話：03－5400－1200（内線2311）

E-mail：nsdoctor@jikei.ac.jp

3．ホームページ：https://www.jikei.ac.jp/graduate-school/

4．申込み期限：2026年11月28日（土）

5．受験及び修学上、合理的配慮が必要な受験生、あるいは基礎疾患を有する受験生は、相談を受けつけますので、事前にお問い合わせ下さい。

14. 合格発表

1．合格発表は**2027年１月21日（木）午後１時**に、本学ホームページに掲載します。
2．合格者には、合格通知書と入学手続きの案内を速達で郵送します。
3．合格発表の問い合わせには一切応じられません。

15. 入学手続

合格者は入学手続きの案内に従って手続を行ってください。定められた手続を完了しない場合、入学の資格を失いますので十分注意してください。

1．学 納 金

1）入学金は 200,000 円、授業料は年額 600,000 円です。
2）授業料は分納も可能です。
3）長期履修制度の利用者は 3 年間の授業料で 4 年間学修できます。

修業年限						
	1 年		2 年		3 年	
入 学 金	200,000					
授業料（年間）	600,000		600,000		600,000	
分 納 （前期／後期）	500,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000

2．入学手続および学納金納入期限

2027年２月27日（土）午後３時までに完了してください。

※入学を辞退する場合は、2027年１月30日（土）までに書面（書式自由）にてお知らせください。

3．入学手続後の入学辞退にともなう納入金の返還

2027年３月26日（金）午後３時までに入学辞退を文書にて申し出た方に限り、入学金20万円を除いた納入金を返還します。なお、この期限を過ぎて入学辞退を申し出ても納入金は返還いたしません。

4．本学の看護学科・看護専門学校卒業生および看護学専攻博士前期課程（修士課程）修了生、本学勤務者（看護学科・看護専門学校・附属病院を含む）は、入学納入金の優遇制度があります。

16. 奨学金制度

日本学生支援機構、東京都看護師等修学資金などの奨学金へ応募できます。

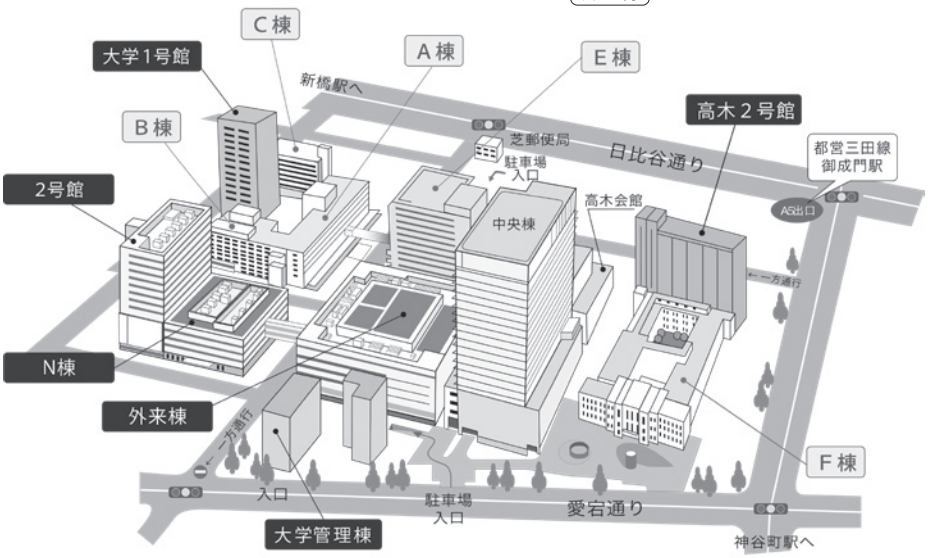
17. 試験場・地図

○入学試験会場

東京慈恵会医科大学・大学管理棟

東京都港区西新橋３丁目25番１号





大学1号館	大学事務部 学事課 大学1号館講堂(3F) 4階講堂(コンピュータ演習室) 5階講堂 6階講堂	
高木2号館	慈恵看護専門学校(1階) 南講堂(地下1階) リーベ(地下1階)	
大学管理棟	5階看護学専攻 8階同窓会・慈恵医師会・生涯学習センター 9階カンファレンスA・B	

■Ｊ　Ｒ　　新橋駅下車　　徒歩約12分

■地下鉄

都営三田線	御成門駅下車	Ａ５出口	徒歩約５分
東京メトロ日比谷線	神谷町駅下車	３出口	徒歩約５分
東京メトロ銀座線	虎ノ門駅下車	１出口	徒歩約10分

東京慈恵会医科大学

大学院医学研究科看護学専攻事務室

〒105－8461 東京都港区西新橋 3 丁目25番 8 号　電話03－5400－1200（内線2311）

1 看護哲学・母性看護学　研究指導教員

濱田　真由美　准教授

母性看護学を中心に、医療や女性を取り巻く社会的・構造的背景、ケアの関係性、リプロダクティブヘルスに関わる諸課題を、国内外の文献と現場の実践に基づいて探究する。学生は、既存理論や概念枠組みを用いながら、現象の背後にある前提、価値、意味、知の成り立ちを批判的に問い直し、文献検討、予備調査、フィールドワーク等を通じて、自らの研究関心を独創的な研究課題へと発展させ看護学の発展に寄与する能力を養う。

2 母性看護学　研究指導教員

松永　佳子　教授

母性看護学（思春期から周産期を含む生涯を通じた女性の健康）を対象とし、女性とその家族の健康促進に関する研究を行う。研究課題に応じた研究手法でデータ収集・分析を行い博士論文を作成することを通じて、日本におけるエビデンス構築に貢献し、自立して研究を推進できる能力を修得するとともに、看護学の発展に寄与できる能力を養う。

3 小児看護学　研究指導教員

永吉　美智枝　教授

小児看護学の観点から、小児期から成人移行期のこどもの健康な成長発達や疾病・障害による課題を捉え、研究により看護の質およびこどもと家族のアウトカム向上を図る能力を養う。発達理論および親子関係、家族の理論の理解を深め、看護、政策、社会、医療福祉、教育等の多角的視点から国内外の文献レビューを行い、研究課題を明確化する。自立的な研究（量的／質的／混合／介入）計画立案、調査の実施、分析、論文作成、国内外の学会発表および学術誌への投稿のプロセスを通して、研究者あるいは教育者、実践者として小児看護学の発展に寄与する能力を養う。

4 老年看護学　研究指導教員

梶井　文子　教授

超高齢社会での老年期の健康、特にエンドオブライフケアにおける認知症高齢者、虚弱高齢者等と、その家族、ならびに学際的課題についての実践的に解決できる研究成果を目指すため、関係する諸理論や老年医学・看護学・他の学際的な知識を活用し、国内外の先行研究から研究課題を明確にし、適切な研究方法を用いて、研究博士論文を作成し、研究を遂行し、論文を作成するプロセスにおいて、自立して研究を推進できる能力を修得し、教育を担い得る能力と共に、看護学の発展に寄与する能力を養う。